

8 第二中学校区

◆ 地区の学校：三省小学校、致遠小学校、城西小学校、西小学校、第二中学校

＜児童生徒数の推計＞

平成 27 年 5 月 1 日現在(推計含む)

学校名	H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30		H31		H32		H33	
	C	児童数																						
三省小学校	6	67	6	72	6	67	6	72	6	68	6	65	5	65	5	54	4	51	4	45	4	43	4	44
致遠小学校	17	520	17	499	17	479	16	455	16	423	16	419	15	396	14	384	14	384	14	372	13	361	12	334
城西小学校	10	246	11	246	11	247	11	254	11	244	9	233	8	225	8	213	6	204	6	198	7	200	8	211
西小学校	11	264	10	252	9	239	8	223	7	195	6	175	6	171	6	159	6	159	6	158	6	150	6	154
第二中学校	17	556	17	554	16	517	15	499	16	530	15	518	15	522	13	464	12	430	12	402	13	391	12	385

※Cはクラス数

◆ 第二中学校区の検討課題と対応案

【短期】 駒越地区と真土地区の学区外就学について

岩木小学校・津軽中学校区（旧岩木町）の駒越地区と真土地区については、市町村合併前と変わらず岩木小学校・津軽中学校が進学先（指定校）となっていますが、それぞれの地区の中には、城西小学校又は西小学校・第二中学校（いずれも旧弘前市の学校）が近い場合があります。

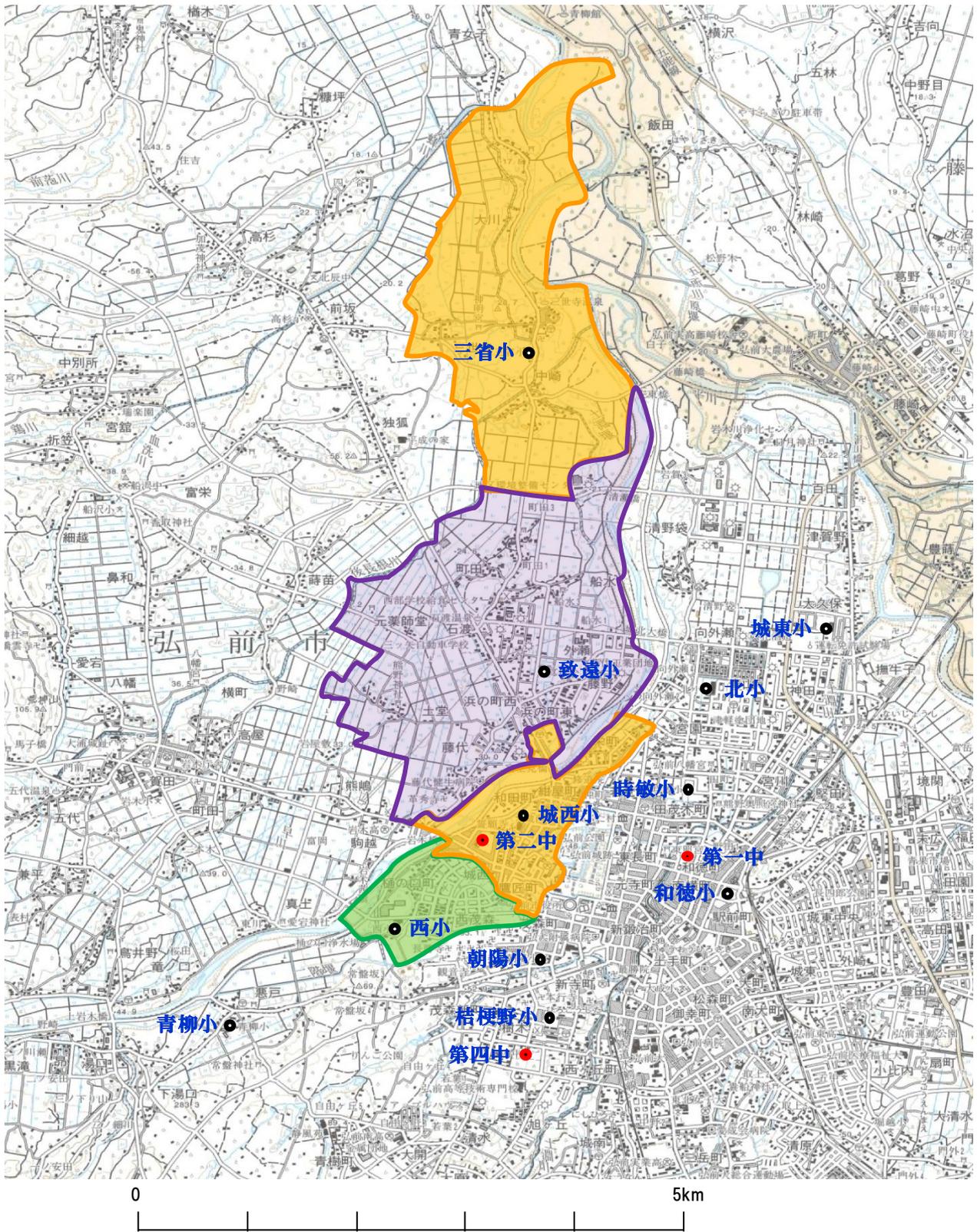
当該地域に住んでいる保護者の中には、合併により同じ行政区になったので近い方の学校に通わせたいという要望もあることから、学区外就学の許可基準による特別許可区域として、当該地区に住んでいる児童生徒の保護者が希望する場合には、通学時の安全面や身体的な負担の軽減などを考慮し、城西小学校又は西小学校・第二中学校に通学することができるよう、基準の見直しを検討する必要があると考えます。

【短期】 三省小学校と致遠小学校の統合について

三省小学校は、現在1学年1学級の6学級ですが、平成28年度から複式学級が編制される見込みであり、また今後児童数が緩やかに減少し、複式学級が増えていくことが見込まれます。小規模校のよさがありますが、学校教育において、子どもたちが集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくことがより重要と考えます。

三省小学校と致遠小学校は、同じ第二中学校区の小学校として、これまで地域との連携を大切にしながら様々な小中連携の推進事業に取り組んできました。

このようなことから、一定の集団規模による教育環境を確保するために、短期では、三省小学校と致遠小学校の統合について検討を開始する必要があると考えます。



<小・中学校の区域>

学校名	区域（大字名）
三省小学校	中崎、三世寺、大川
致遠小学校	藤代（字川越田、和田を除く。）、土堂、菟中、鳥町、石渡、船水、町田、浜の町東二丁目、浜の町東三丁目、浜の町東四丁目、浜の町東五丁目、浜の町西一丁目の一部、浜の町西二丁目の一部、浜の町西三丁目、石渡一丁目、石渡二丁目、石渡三丁目、石渡四丁目、石渡五丁目、藤代一丁目、藤代二丁目、藤代三丁目、藤代四丁目、藤代五丁目、外瀬一丁目、外瀬二丁目、藤野一丁目、藤野二丁目、浜の町北一丁目、浜の町北二丁目、船水一丁目、船水二丁目、船水三丁目、町田一丁目、町田二丁目、町田三丁目、八代町、藤内町、元薬師堂
城西小学校	藤代（字川越田、和田）、栄町一丁目、栄町二丁目、栄町三丁目、栄町四丁目、馬屋町、鷹匠町、新町、南袋町、駒越町、平岡町、西大工町、袋町、五十石町、紺屋町、河原町、和田町、樋の口一丁目の一部、浜の町東一丁目、浜の町西一丁目の一部、浜の町西二丁目の一部
西小学校	城西一丁目、城西二丁目、城西三丁目、城西四丁目、城西五丁目、樋の口町、南城西一丁目、南城西二丁目、樋の口一丁目の一部、樋の口二丁目、茜町一丁目、茜町二丁目、茜町三丁目の一部
第二中学校	三省小学校、致遠小学校、城西小学校、西小学校の学区と同じ。

<学区外通学が認められている住所>

なし

※【短期】駒越地区と真土地区の学区外就学について】の参考図

